

令和5年度学校だより

草庵先生に学ぶ宿南小学校

しゅくなみ



No.20

令和6年2月7日

《 時間を大切に 年度末に向かってGO!! 》

「1月は往く、2月は逃げる、3月は去る」と言います。この間3学期の始業式をしたように思うのですが、あっという間に2月に入りました。先日は大寒波襲来により大雪となるなど、まだまだ寒い日は続きますが、2月4日は立春、暦の上では春を迎えたこととなります。「時は金なり」とも言われます。新たな気持ちで進学、進級を迎えるために、今年度のまとめと来年度に向けた準備をしっかりと行っていききたいと思います。



2月3日には、参観日・ふるさと講演会を行うことができました。大谷選手のグローブも見ていただくことができました。

この後の大きな行事としては卒業式が予定通り行えますよう、コロナ対策と併せてインフルエンザの感染予防に努めます。寒いのでおざなりになりがちな手洗いやうがいをごまめに行う、部屋の換気をする、感染リスクを上げないために密を避ける、健康管理をする、など日々の感染防止対策をしっかりと「持ち込まない」ようにしたいです。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

《 学校教育活動の様子 》

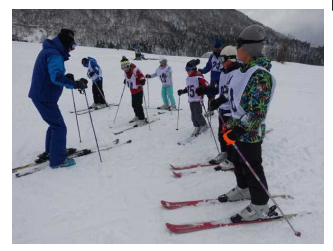
《 6年生 中学校登校&入学説明会 》

1月23日、3回目の6年生中学校登校と入学説明会が行われました。午前中2コマの授業と中学校生活についての講話、入学説明会の会場準備、給食を挟んで5時間目は保護者による授業参観、そして入学説明会という日程でした。授業は中学校の先生による国語、社会、技術の3教科でした。国語は、言葉の書かれたカードを、見えないように一人が額に掲げ、グループでヒントを出して正解に導く人に伝える楽しさを知る授業でした。社会は、グループで話し合い、考えを伝え合って資料を読み解き、古代人の謎を解明していきました。技術は、曲尺や糸鋸を使ってネームプレート作りをしました。1、2回目には感じられた緊張感が薄れて和気藹々と話し合う姿に、この中学校登校の意義を感じました。中学校での生活や学習は小学校と大きく変わります。服装などの約束事が増えたり、教科担任制や広い範囲での定期テストが始まります。この大きな変化は「中1ギャップ」と呼ばれ、その緩和に向けた取組の1つが中学校登校です。3回の中学校登校で、回を追うごとに中学校生活のイメージや仲間づくりはできてきたと思います。小学校生活残りの2ヶ月で進学に向けた準備を進め、「小学校生活を仕上げ」て、自信をもって中学校へ進学してほしいと願っています。



《 楽しかったスキー教室！ 》

1月26日は、鉢伏高原へスキーに行ってきました。全校生を4つのチームに分け、チームごとに担任の先生とインストラクターの先生とで手厚く指導します。23日には大寒波により大雪警報が発令され、2日間の降雪で積雪量は十分でした。気温は低かったですが、午前中はちらちら雪が舞う程度で、みんなやる気満々で指導を受けました。初めてスキー板をはく子もいましたが、何度も転びながらあきらめずにチャレンジを続けました。初めての方は、午後からラクーナというベルトに乗って少し上から滑れるようになり、2回目以上の方は昨年よりも上達することができました。絶好のスキー日和、怪我や事故なく終わってよかったです。



《 愛校作業で机の周りを美しく 》

1月19日の愛校作業では、毎日使っている机の引き出しをきれいにしました。教科書や筆箱などを取り出して、汚れを拭き、拭いただけでは落ちない汚れはスポンジを使って落としました。引き出しがきれいになったら、机の中や机の脚の部分を丁寧に拭いている人もいました。自分の物も学校(公共)の物も等しく大切にすることは、自他ともに大切にすることも養うと考えます。机も心もピカピカになりました。



《 入学説明会を行いました 》

1月25日は、こども園の保護者に来ていただき、入学説明会を行いました。入学予定児童は5人ですが、長子のご家庭が少ないので、1年生担任から小学校での1日の暮らしについて、しおりにそって説明しました。入学までにできるようになってほしいことや、入学までに準備をお願いしたいもの、健康管理など、お願いすることが多くなりましたが、疑問に思われたことを質問いただきながら会がすすみました。5人の新入生の入学が楽しみです。



《 宿南タイム 三色鬼ごっこをしました 》

2月1日の宿南タイムは、集会委員会が考えた三色鬼ごっこをしました。赤は白を白は黄を、黄は赤をそれぞれ追いかけます。タッチされたら敵の陣に行き、味方が助けに来てくれるのを待ちます。捕まっていた人は、味方にタッチしてもらったら、また鬼ごっこに参加できるというものです。それぞれが敵からタッチされないように逃げながら、自分たちのターゲットとなる色の人たちを捕まえるという、なかなか高レベルな鬼ごっこです。子どもたちは何度かするうちにコツをつかみ、チームで作戦を立てて逃げたり捕まえたりしていました。楽しむためにはルールを守ること、遊びなので捕まっても怒ったりせずにその時間を過ごすということが大切です。

